

野研びより

昆虫編 7号

野外生物生態調査研究部 昆虫班

2016年10月

コカマキリ *Statilia maculata*

カマキリ目 カマキリ科¹⁾

大きさ：48-65mm¹⁾

時期：8-11月¹⁾

分布：本州・四国・九州・(沖縄※諸説ある)¹⁾



図1. コカマキリ (2016年10月20日 木花公園にて撮影)

〈偽瞳孔〉

カマキリが瞳でこちらを追って見ているように感じることもある³⁾が、カマキリは複眼のため瞳は存在しない。この黒い点は偽瞳孔と呼ばれる。偽瞳孔という器官がそこにあるのではなく、観察者が複眼の奥まで見通せる範囲だけが黒い点として現れるのである。

この偽瞳孔は、カマキリだけでなく蝶やトンボなどでもみられる。

〈引用文献〉

1) 今井初太郎 (2016) 日本の昆虫 生態図鑑, メイツ出版

2) コカマキリ 昆虫エクスプローラ

<http://www.insects.jp/kon-kamako.htm>

3) 林道百拾号線：カマキリの偽瞳孔

<http://woodland-trail.waynifty.com/rindou110gousen/2008/09/post-9caf.html>

〈特徴〉

名前の通り小型のカマキリで、多くは褐色系の色だが、稀に緑色の個体も存在する。前脚の鎌の内側に白黒はっきりした斑紋がある^{1) 2)}。

林の周辺から草原・人家の庭先など幅広く生息している。地表を歩き回っていることが多く、鎌で小型の昆虫を捕食する。

天敵に遭遇すると死んだふり（擬死）をすることがある。



図2. コカマキリ (2016年10月20日 木花公園にて撮影)